

●第4回「新たな学校づくり・社会教育施設づくり検討委員会」が開催されました！

第4回検討委員会では、①避難所としての学校、②中間報告に向けた整理、③特別教室の設置・整備に関する考え方、④ラーニングセンターの整備の方向性の4点について、意見交換をいたしました。

【第4回検討委員会に関連する論点】

- 1) これからの時代の学校に必要な機能・諸室 オープンスペース、多目的スペース、特別教室 など
- 5) 学校教育を深化・充実するための特別教室 学校図書館 など
- 8) 学校と地域をつなぐ、現実的かつ効果的な複合化・共用化 セキュリティ、管理・運営体制 など
- 9) 避難所としての学校施設 災害リスク、体育館、バリアフリー、セキュリティ、管理・運営体制 など

※各回の検討は「10の論点」を基本として進めております。第1回資料をご参照ください。

●避難所としての学校のあり方

避難所として学校が備えるべき設備・物品のほか、避難所の運営体制、避難者がいる中での教育活動の再開のあり方についてなど意見交換を行いました。

施設面では、建物の堅牢さが第一であるとともに、備蓄倉庫や自家用車での避難を要する者のための一時的な駐車スペースを設けることの必要性が指摘されました。また、保健室や家庭科室が主たる避難所となる体育館の近くに配置されると避難生活時にも使いやすいのではないかとという提起もありました。

運営面では、運営しやすいハードであるとともに、地域が中心となって避難所の運営体制をつくることの必要性や、運営マニュアルの整備や鍵の管理など、平時から学校と地域の関係性を構築しておくことの重要性を指摘いただきました。また、避難生活の安定が学校教育の再開の条件ともなることから、安定的な運営を可能にするとともに、避難所開設時でも子どもが勉強できる環境づくりが必要という指摘もいただきました。

いずれの意見も平時から災害に備えておくことが重要だという共通認識があると感じられました。

●中間報告に向けた整理

事務局より中間報告作成に向けた検討の振り返り資料をご提示し、委員の皆さまにその方向性をご確認いただきました。令和6年4月開催の第5回検討委員会では中間報告（素案）を事務局よりご提示し、それをもとに引き続き議論いただく予定です。

●特別教室のあり方

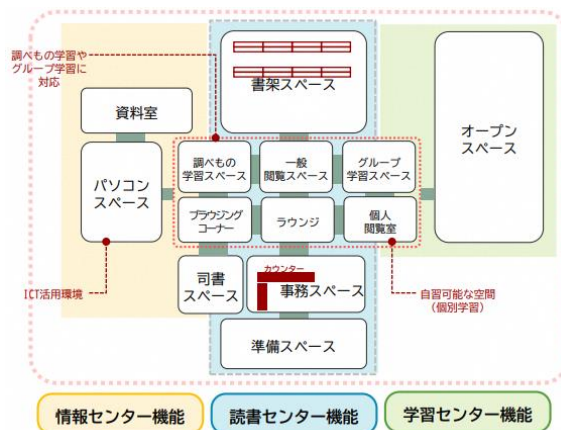
新しい時代の学びにとってふさわしい特別教室のあり方について意見交換を行いました。各教室の専門性にあわせて機能や配置を限定させることのない柔軟な配置や教室づくりの可能性に言及する意見があったほか、時代にあわせて特別教室のラインナップを見直す必要性についても示唆いただきました。

また、授業での利用が少ない教室については地域との共用化を検討する必要性も提起されました。公共施設の床面積の削減のみならず、子どもたちが大人の学ぶ姿をみることで、授業だけで学習を閉じることなく、さらに生涯学習へと視点が広がる可能性が期待できるとして、今後も引き続き検討していきます。

●ラーニングセンターの整備の方向性

日野三中生徒のワークショップで得られた声をもとに、構成案を作成しました。学ぶだけの空間としてではなく、寝転んですごしたりグループ活動をしたり等、居心地がよく多様な活動ができる空間としての整備を求めのご意見や放課後や休日、そして地域開放ができるとなおよいというご意見もありました。また電子書籍への移行や特別教室との位置関係等、検討にあたり考慮すべき視点についてもお指摘いただきました。

ラーニングセンターの構成案



ワークショップの様子はホームページ（第4回検討委員会資料）で公開中

●第4回検討委員会における意見交換の様子

意見交換における主な意見

市内学校にも体育館の近くに家庭科室があるが、行事の際に便利である。非常時においても理にかなった配置であり動線と思う。

特別教室は時代の変化とともに教科の枠を超えもフレキシブルに変えていけるとよい

探求的な学習が求められるなかで、授業中に学びが完結するとは限らない。その時、休み時間など使ってラーニングセンターで学ぶことができることは重要である。

ラーニングセンターは、放課後や土日、長期休暇も子どもたちが居場所としても利用でき、地域にも開放されているとよい。

被災時に子ども達が勉強できる環境を整えてあげることも重要。一方で学校再開には、避難所生活の安定が必要。

要支援者のためにも電源確保が必要。医療的ケア児が通学できる現状であれば、避難所としての機能も担保できると思う。

避難所運営を見据え、いかに使いやすいハードを用意しておくかが重要。また、機能性の高い備蓄倉庫の整備が大事

避難所の運営は、児童・生徒も関わることはできないのではないか。顔の見える関係を学校と地域で築いておけば、避難所運営も円滑にできるのではないかな。

●市民の皆様からご意見を募集しています。

日野市教育委員会では、新たな学校づくり、社会教育施設づくりに対するご意見を市民の皆様より募集します。「●●な学校であってほしい」「もっと地域のみんなが利用できる学校であるといいな」など、学校施設の機能や利用についてのお考えをぜひお寄せください。

ご意見は URL または 2次元コードより、アンケート回答フォーム（ロゴフォーム）にてお寄せください。

これまでの寄せられたご意見をご覧いただくことができます。

URL:<https://logoform.jp/form/Z9UK/376471>

二次元コード

